

平成 16 年度  
都市景観大賞「美しいまちなみ賞」

受賞地区の概要

「都市景観の日」実行委員会

# 都市景観大賞「美しいまちなみ賞」について

都市景観大賞「美しいまちなみ賞」は、美しいまちなみを創り、育てるために、公民が協力し、ハードとソフトを含めた総合的な取り組みが行われている地区を全国から募集し、その中でも特に優れた地区について表彰を行い、広く国民に紹介していくことにより、より良い都市空間の形成を目指すものです。

## 【対象地区の要件】

次の二つの要件に該当する地区を対象とします。

- (1) 地方公共団体（市町村又は特別区）と市民等が協力し、街路や公園等の公共空間と建築物等による民有空間を一体とした美しいまちなみが整備されていること。建築物等の規制・誘導、電線類の処理、広告物の整序などが考慮されており、あわせて沿道景観等にも配慮した道路等の公共施設の整備が行われていること等。
- (2) まちなみの維持・保全に係わるNPO等のまちづくり組織等\*<sup>1</sup>が設立され、適切に管理・運営がなされるとともに、まちなみが十分に活用され、地域の活性化が図られていること。

## 【審査と表彰】

都市景観大賞「美しいまちなみ賞」審査委員会において、応募図書等をもとに、まちなみの整備や維持、保全に関する活動の新しさ、独創性、模範性などのほか、地域再生、都市再生や観光交流面でのアピール性等を審査した上で、下記の3つの賞を選定します。

- ① **美しいまちなみ大賞** ……国土交通大臣による表彰
- ② **美しいまちなみ優秀賞** ……(財)都市づくりパブリックデザインセンター会長による表彰
- ③ **美しいまちなみ特別賞** ……(財)都市づくりパブリックデザインセンター理事長による表彰

## 【都市景観大賞「美しいまちなみ賞」審査委員会 委員名簿】

委員長	中村 良夫	東京工業大学 名誉教授
委員	岩淵 潤子	慶応義塾大学 教授
	加藤 源	都市プランナー
	岸井 隆幸	日本大学 教授
	興水 肇	明治大学 教授
	富田 玲子	建築家
	松葉 一清	建築評論家
	面出 薫	照明デザイナー
	山岡 義典	日本NPOセンター副代表理事／法政大学教授
		国土交通省 都市・地域整備局 都市計画課 課長
		国土交通省 都市・地域整備局 市街地整備 課長

(順不同、敬称略)

# 平成16年度 都市景観大賞「美しいまちなみ賞」受賞地区概要

## 「美しいまちなみ大賞」

地区名	応募者
恵み野地区	・恵み野花のまちづくり団体連合会 ・恵庭市
南町地区	・温泉中央南線(山中温泉ゆげ街道)街なか再生・目抜き通り整備協議会 ・石川県山中町
うだつの上がる町並み地区	・町並み景観保全委員会 ・美濃市

## 「美しいまちなみ優秀賞」

地区名	応募者
横浜市緑園都市住宅地区	・緑園都市コミュニティ協会 ・横浜市 ・相模鉄道株式会社
金沢杜の里浅野川通り ・杜の里通り沿道地区	・金沢市杜の里まちづくり委員会 ・金沢市 ・株式会社アスリック
門真市石原東・幸福北地区	・門真市石原東・幸福北地区共同整備事業組合 ・門真市
りぼんシティオ那珂川地区	・美野島校区まちづくり協議会 ・福岡市

## 「美しいまちなみ特別賞」

地区名	応募者
岩出山町南町地区	・南町商店街事業協同組合 ・宮城県岩出山町 ・宮城県古川土木事務所
ガーデンヴィレッジ平尾台地区	・ガーデンヴィレッジ平尾台管理組合 ・北九州市 ・みくに産業株式会社

### 【審査委員長 中村 良夫 東京工業大学名誉教授 総評】

大賞を受賞した恵庭市の「恵み野地区」は、花と庭をテーマにした美しい住宅地デザインだ。オープンガーデンとして開放された庭や窓辺の花を賞でる「花探偵団」によるコンテストが楽しい。セットバック空間に市民参加で花が植えられた一部の幹線街路については、裏通りから車がアクセスするように工夫されている。人生を楽しむ市民のリーダーシップが見事に開花した町である。団地の中に農業用水をゆらゆらと流した長い帯状の公園は、応募の目玉ではないが、町に潤いを生む素晴らしい都市骨格をつくった。

拡幅、無電柱化、セットバックと緑化などの街路整備に加えて、更新された沿道建築のデザイン、ファサード修景、曳き家による保存活用などの他、業種・業態のプランなどを景観条例の枠組みによって行った山中町の「南町地区」は、観光活性化への寄与が評価された。街路敷だけでなく、沿道建築へ思い切って立ち入った点が見どころである。デザインの質については議論もあったが、臨機応変にきめ細かく工夫している点に好感が持てる。

美濃市の「うだつの上がる町並み地区」は、貴重な景観資産を生かした伝建地区の町並みデザインが、いよいよ本格化したことを心強く感じさせた秀作であろう。

大規模で立地にも恵まれた重要プロジェクトへの挑戦として評価されながら、審査員の意見が分かれ、受賞を見合わせた事例もあった。外部空間の形、テクスチャ、スケールのまとまりに説得力を欠き、どこかよそよそしく、文化としての体温が低いように感じられたのがその理由である。全体として市民の息遣いの聴き取れる小プロジェクトに佳作が多かったのに対し、規模が大きくなるにつれて、人間の身の置き所をうまく設かかねているきらいがある。今後の精進に期待したい。

「コレヲ知ル者ハ、コレヲ好ム者ニ如カズ。コレヲ好ム者ハ、コレヲ楽シム者ニ如カズ。」といういにしへの聖人の言葉は、そのまま町づくりの極意ではないか。町づくりに求められるのは、都市とともに生きる人生の意味を掘り下げることであって、それは、生産効率ではなく創造性の世界である。ありていに言えば、無私な道楽精神によってこそ、町なみは景観という魂を吹き込まれるのだ。

今回はインターネット投票によって、多くの市民のご意見を参考にすることができた。国民的熱気を感じながらの審査となった。

# 美しいまちなみ大賞

## 恵庭市恵み野地区

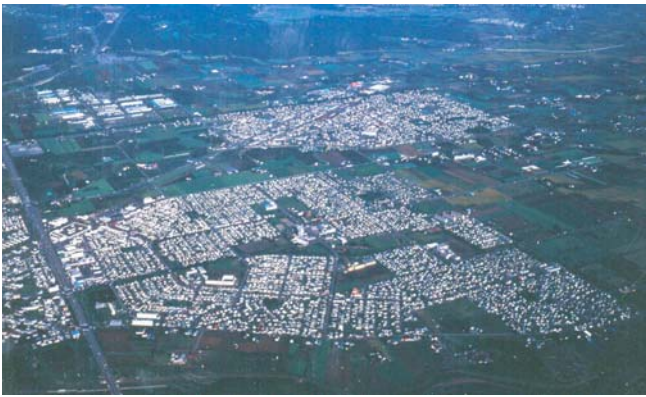
所在地 北海道恵庭市  
地区面積 約238ha  
応募者 恵み野花のまちづくり団体連合会  
恵庭市

### <地区の概要>

行政により計画されつくられた新興住宅街であるこの地区では、計画当初より、単なるベッドタウンにはしないことを目標に、地区内を水と緑の連続公園が縦断し、主要な歩道には、花壇の配備も可能な6m以上の幅広い歩道を配置するなどの工夫をし、快適性と利便性を追求した方向を目指している。

H3年に「いつまでも綺麗なまちを」と女性市民が始めた花による美化運動が、徐々に住民各々の庭を中心に広がり、花のまちづくり運動として定着。

公共施設における、行政主導で進められる画一的な美化運動とは異なり、道路からみた庭の美しさも考えながら、個々の住民が創意工夫して整備した結果の風景であるため、地区全体が独特のうおいに満ちた景観となっている。



▲ 当地区は、JR恵み野駅(写真中央左)周辺に位置し、団地の中央に帯状に恵み野中央公園が配置されている。



▲ コンテスト実行委員による「花探偵団」の審査風景。



▲ リサーチビジネスパークセンター前庭で行われた「花とくらし展」。官民共同で実行委員会を組織化して開催している。



▲ 「花の千人植え」風景。JR恵み野駅から約3km、道路の両側を「花ロード」と名付け、自由参加で花を植える。



▲ 都市計画道路(南島松1号通)の計画幅員16mより更に広く、歩道と花壇用地8mを確保した箇所。沿線の恵み野商店会や「花の千人植え」で管理している。



▲ 恵み野研究村の全景。電線地中化、道路の曲線化、建物の位置、色、植栽の統一などがわかる。



# 美しいまちなみ大賞

## 山中町南町地区

所在地 石川県江沼郡山中町  
地区面積 約2.2ha（延長320m）  
応募者 温泉中央南線（山中温泉ゆげ街道）  
街なか再生・目抜き通り整備協議会  
山中町

### <地区の概要>

山中町は東に鶴仙溪を有する大聖寺川、西に医王寺を有する水無山があり、南北に開かれている。その中で当地区は中心市街地にあり、目抜き通りの主要地方道山中伊切線が南北に走っている。しかし、道幅が狭く、自動車の交差はもとより、歩行者にとっても非常に危険な通りであったため、拡幅の計画が持ち上がった。これを機に沿道住民による建築物の建て替えが進み、温泉街らしさを目指し、景観の形成をしている。また、歩道が出来たことによりそぞろ歩きを楽しめるようになり、商店街として地元客と観光客の交流できる通りとして様々な取組みを行っている。



▲ 街路整備がなされ、沿道の建築物の新・改築が進んでいる。（北から南方向）



▲ 拡幅により周囲の山々を望めるようになり、まちなかの植栽と調和している。（南から北方向）



▲ 曳き家により町屋を再生し、通りの拠点施設として活用している。



▲ 再生された町屋のファサードと合わせて新築された建築物。（建物奥）



▲ 改築後も石積みを施し、景観に配慮してある。



▲ 通り沿いに設けられたゴミステーション。



# 美しいまちなみ大賞

## 美濃市うだつの上がる町並み地区

所在地 岐阜県美濃市  
地区面積 約10ha  
応募者 町並み景観保全委員会  
美濃市

### <地区の概要>

当地区は、美濃市の中心市街地を形成し、江戸時代初期に行われた町割を残す地区であり、うだつの上がる町並み、特産の和紙を使った花みこし、流し仁輪加など、歴史と伝統を引き継いでいる。平成11年に、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。これを機に、住民の参画により「総合地区整備計画」「景観マニュアル」を策定し、景観の保全と形成を行ってきた。架空線の撤去による空の広がりや山並みの緑、町並みのファサードが調和し、風格のある町並みの景観が形成されている。

また、市民協働による「美濃和紙あかりアート展」など、多彩なイベントも開催し、町並みに賑わいが再生しつつある。



▲ 当地区は、東海北陸自動車道美濃ICの北側に位置し、緑多きところである。



▲ 一番町通り、建物のファザードが整然とし、良好な景観形成がなされている。



▲ 整備されたうだつの上がる町並みで行なわれる春の祭。花みこしが練り歩く。



▲ 景観形成マニュアルに基づいた、家屋の修景例。格子の建具、真壁などで修景がされている。



▲ 美濃・紙の芸術村のワークショップの様子。子供たちを中心に交流をはかる。



▲ 市民協働によるあかりアート展、和紙の造形が柔らかい明かりを灯す。毎年10月開催。



# 美しいまちなみ優秀賞

## 横浜市緑園都市住宅地区

所在地 神奈川県横浜市  
地区面積 約122ha  
応募者 緑園都市コミュニティ協会  
横浜市  
相模鉄道株式会社

### <地区の概要>

当地区は横浜市西部の泉区に位置し、相鉄いずみの線「緑園都市駅」を中心として開発された、面積122ha、人口1万5千人を擁するニュータウンです。

ニュータウンの開発には「アーバンデザイン」の考え方が採用されています。即ち「人間性を追求した豊かな街づくり」を目指し、基幹道路の幹線・準幹線道路共に電線が地中化され幅広く走り易くなっています。又、住宅内道路には歩行者優先の道路があり、安全性が考えられています。戸建街区の道路と住宅の門塀・門扉間にはセミパブリックゾーンを設ける事により街並みの景観を生み出し、一方、街の機能を活性化させる文化・教育・商業施設も街全体の景観と利便性を配慮し造られており、分譲以来18年経った今でも「快適で安全・安心な居住環境」を追求し創り出している街です。



▲ 上空から見た緑園都市住宅地緑に囲まれ整然とした街並みが眺望できる。



▲ 緑園都市駅から子供自然公園に続く歩行者専用道路「四季の径」



▲ 閑静な戸建住宅街区ガーデニングで映える美しい通り、2段植栽が特長。



▲ 集合住宅街区サン・ステージ緑園都市東の街エントランス風景。



▲ 街の一斉清掃に親子・学生が参加しているイベント風景。



▲ 彩りある街を実現するための「花の頒布会」の開催風景。



# 美しいまちなみ優秀賞

## 金沢市金沢杜の里浅野川通り・杜の里通り沿道地区

所在地 石川県金沢市  
地区面積 約20.7ha  
応募者 金沢市杜の里まちづくり委員会  
金沢市  
株式会社アスリック

### <地区の概要>

当該地区は、金沢大学の位置する金沢市東部丘陵の緑豊かな里山地域、市を代表する河川の一つ浅野川に面し、対岸の小立野台地の緑豊かな斜面緑地に囲まれ、身近な自然環境が豊かに残された地区である。

こうした環境の中にあつて、豊かな自然環境と調和する街並みづくりを実現するため、地区計画による「壁面線後退の規制」と、地区計画では規制できない「壁面後退部分の利用」をまちづくりのルールで補うことにより、3mセットバックの歩行空間化を実現している。

その他、地区計画では、歩行者からの近景、中景に配慮し、高さの最高限度（敷地面積、デザインにより緩和）、独立広告の位置の制限、勾配屋根、屋上広告の禁止などを規制している。



▲ 上空から見た緑園都市住宅地緑に囲まれ整然とした街並みが眺望できる。



▲ 緑園都市駅から子供自然公園に続く歩行者専用道路「四季の径」



▲ 閑静な戸建住宅街区ガーデニングで映える美しい通り、2段植栽が特長。



▲ 集合住宅街区サン・ステージ緑園都市東の街エントランス風景。



▲ 街の一齐清掃に親子・学生が参加しているイベント風景。



▲ 彩りのある街を実現するための「花の頒布会」の開催風景。



# 美しいまちなみ優秀賞

## 門真市石原東・幸福北地区

所在地 大阪府門真市  
地区面積 約0.9ha  
応募者 門真市石原東・幸福北地区共同整備事業組合  
門真市

### <地区の概要>

当地区は、経済の高度成長期である昭和30年代後半から約10年間にわたって、基盤が未整備のまま大量の文化住宅、長屋住宅等38棟227戸が建設された、防災上、住環境上に課題のある面積約9,000㎡の地区でありました。

この地区を良好で美しいまちとして更新するため、地権者からなる共同整備事業組合を平成7年に設立し、市と組合で事業を実施してきました。市と組合間でお互いの役割分担を明確にするため「まちづくり事業協定」の締結、また魅力的でデザイン統一の景観づくりを行うため、「花と芸術のあふれるギャラリーのあるまち」をコンセプトに、「景観デザインルールブック」を作成し、これに則って建築物、道路、公園等調和のとれたまちなみが形成されています。



▲(従前)約0.9haに老朽建築物等が無秩序に建ち並び住環境の面でも問題があった。→(従後)平成16年9月の街開きをもって、すべての基盤(公園・道路)、新規建物は完成した。



▲外壁は、2階まではタイル張り、それ以上は吹き付け塗装で仕上げている。



▲区画道路2号線。幅員は6mでインターロッキング舗装をし、まちなみに合ったものとなっている。



▲バルコニー及び開口部にはプランターボックス設置スペースを設け、各棟の玄関部分には、ヨーロッパの面を装飾している。



▲「とおり庭」のイメージで路地を形成している。



▲住民の憩いの場となっている公園。面積:485.18㎡。耐震性貯水槽:40tを設置。



# 美しいまちなみ優秀賞

## 福岡市りぼんシティオ那珂川地区

所在地 福岡県福岡市  
地区面積 約8.5ha  
応募者 美野島校区まちづくり協議会  
福岡市

### <地区の概要>

当地区は福岡市（人口138万人）にあるJR鹿児島本線博多駅と竹下駅の中間に位置する。大規模な工場等が立地していたが、移転に伴う土地利用転換にあたり、住宅市街地総合整備事業制度を活用し、都市型住宅と道路・橋梁・公園等の公共空間の一体的な整備が進められているとともに、地区内を流れる那珂川では河川改修に合わせて潤いとふれあいのある水辺空間が整備されている。

地区整備にあたっては、工場地帯の印象を払拭し、魅力ある住宅地としてのイメージアップを図るため、各事業者が連携し、初期段階からさまざまな景観に対する取組みが行われてきている。

現在は、地区整備の過程での住民参加の取り組みをさらに発展させ、整備された施設、景観を生かした、地区住民による交流、コミュニティの形成を目指している。



▲「りぼん」は両岸のまちが結びつく(ribbon)・生まれ変わる(reborn)の意味。



▲那珂川ふるさとの川整備事業により整備された親水空間。



▲りぼんシティオ那珂川  
ウェルカムオブジェ(大気の羽状)。



▲解体した石橋を利用した橋詰め広場のオブジェ(アートワークショップ)。



▲灯明まつり。新旧住民が一緒になって準備。



▲地域に愛され活用されている公共空間。



# 美しいまちなみ特別賞

## 岩出山町南町地区

所在地 宮城県岩出山町  
地区面積 約4.5ha  
応募者 南町商店街事業協同組合  
岩出山町  
宮城県古川土木事務所

### <地区の概要>

岩出山町南町地区は、宮城県北西部に位置する人口1.4千人の山間の町である岩出山町の中心市街地にあり、伊達政宗公の岩出山入府の際に御譜代町として形成され、以来町の中心商業地として現在に至る。

当地区は、平成5年度から着手した街路整備事業（県施行）を契機に、南町商店街事業協同組合や町・県・各種団体が一体となり、「まちづくり協定」にもとづいて統一された建物をはじめ、歴史的伝統を感じさせる街路（電線類ソフト地中化路線）として整備がなされた地区である。

当地区は、年一回の「竹工芸館まつり」や朝市等のイベントが開催されるとともに、組合で植栽による街路のイメージアップを図るなど、岩出山らしい歴史的まちなみとして景観が維持されている。



▲当地区は、東海北陸自動車道美濃ICの北側に位置し、緑多きところである。



▲通丁南町通り線の起点(南)から終点(北)を望む。電線類ソフト地中化によりすっきりとしたまちなみが形成されている。



▲「岩出山町南町通りまちづくり協定」に基づいて、統一された建物が建ち並ぶ。



▲空き店舗だったパチンコ店を改修して整備された岩出山町竹工芸館。



▲観光客や買い物客が気軽にくつろげるポケットパーク。



▲南町商店街事業協同組合で開催している竹工芸館まつり。



# 美しいまちなみ特別賞

## 北九州市ガーデンヴィレッジ平尾台地区

所在地 福岡県北九州市  
地区面積 約0.8ha  
応募者 ガーデンヴィレッジ平尾台管理組合  
北九州市  
みくに産業株式会社

### <地区の概要>

北九州国定公園の平尾台西部に位置する当地区は、もともと多くの樹木が生息する庭園を整備した約0.8haの低層戸建て住宅地である。

当地区に生息する既存樹をどのように生かすかを最大の課題として「森の街プロジェクト」を立ち上げ細部にまでこだわりをもったまちづくりに取り組んできた。

居住者による管理組合を結成し、プロジェクトの要であるグリーン・プランを継続・発展させることで良質な景観形成・保全、そして質の高いコミュニティを育んでいる。

行政と管理組合が管理協定（覚書）を結び、居住者を中心とした自由度の高いきめの細やかな管理を行っている。



▲「森の街」をイメージしたダイナミックな景観が広がる。



▲地区の東部に位置する平尾台と調和のとれた美しいまちなみ。



▲管理組合で実施している月1回の定期清掃。



▲フットパス、公園等の草花類の定植が季節感を演出する。



▲地元平尾台の「平尾台ストーン」を活用した景石等。



▲地区のシンボルゲートが東西に配置されている。